

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パレステージ片瀬江ノ島	階数	地上9F
建設地	藤沢市片瀬海岸二丁目2932-1009他	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	160人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年3月6日
敷地面積	1,008 m ²	作成者	(株)セト設計事務所
建築面積	415 m ²	確認日	2017年3月29日
延床面積	2,903 m ²	確認者	(株)セト設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 74% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 4.0
Q2 サービス性能: 3.0
Q3 室外環境(敷地内): 3.0
LR1 エネルギー: 3.8
LR2 資源・マテリアル: 3.0
LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 4.0

音環境	3.5
温熱環境	4.5
光・視環境	4.1
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

機能性	3.0
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.7
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	3.2
汚染物質回避	2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	4.0
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺環境と調和し、街並みや景観を尊重し、また地球温暖化にも配慮した高い省エネ性能や居住性も兼ね備えたバランスの良い快適な住空間の実現に努め、建設による周辺環境の影響にも出来る限りの配慮を行った。	その他 建設工事における廃棄物削減やリサイクルまた低騒音・振動の工法採用で周辺環境に配慮した。	
Q1 室内環境 開口部も含め外皮断熱性能を高いレベルでめざし、自然採光や換気またホルムアルデヒドにも対応した。	Q2 サービス性能 出来るだけ最大限空間を確保し、バリアフリーや快適さ、またメンテナンスの効率にも努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 景観に配慮した植栽や屋上と屋外平地の駐車場緑化など積極的に周辺環境との調和や街並みに配慮した。
LR1 エネルギー 高性能の開口部やLED照明・潜熱回収型給湯器など優れた設備機器で高効率化やエネルギー負荷の軽減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 節水に優れた水栓などの設備機器やリサイクル資材の使用などに努めた。	LR3 敷地外環境 地下雨水貯留槽などにより雨水流出抑制に努め、周辺環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される